



- 1 **羅針盤** 幸せな人生を実現するKとM
- 3 すでに好評 スカイコートW
- 5 大雨被害には防蟻、防カビ施工は必須!
- 6 「赤外線漏水調査システム」で高精度の雨漏り調査を
- 8 「地域のホームドクター」の役割を果たす木材劣化診断士
- 9 6割超が一戸建て希望、コロナ禍受けた住宅購入調査
- 10 「ワークスペース希望」が25%から35%へ

## 幸せな人生を実現するKとM



株式会社躍進  
代表取締役  
笠井輝夫

### 先人の知恵から成功パターンを学ぶ

我が株式会社躍進では、3KMプログラムを実践しています。

3KMは、人生の羅針盤(人生計画書)です。3KMによって「生きがい」「やりがい」を感じる人生が歩めます! 3KMで、即「喜び生活」「喜び仕事」ができるのです。

3KMのKとは、個人(Kojin)、家庭(Katei)、会社(Kaisya)の3つのKです。これに、もう一組の3つのKである経済=お金(Keizai)、健康(Kenko)、心(Kokoro)の充足があって、人は「幸せ」を感じることができるのです。

そして、その「幸せ」を感じる人生を実現させるために、目標(Mark)、管理(Management)、意欲(Motivation)の3つのMという重要かつ必要なメソッドがあるのです。

まず、個人、家庭、会社というトータルな領域で、自己実現を目指して歩む中にこそ、人生の成功、幸福があるという前提を確認します。

成功パターンには、共通する「ものの見方、考え方」があります。それを古今東西の宗教・哲学・道徳・倫理・ことわざ・格言などと照らし合わせながら、それらを否定せず、人類、先人の知恵を素直に受け入れます。

これらの「成功哲学」を人生の指標として、無限の可能性を秘めた潜在意識のメカニズムを「大脳生理学」的に解明し、単なる精神論でない目標のマネジメントを学ぶのです。

また、効果的な目標設定、行動計画の考え方を「行動科学」に基づいてひも解き、目標を立てることの意義そのものを明確にします。

そして、個人、家庭、会社という人生のすべての領域において、短期から長期の「ありたい姿」と「行動計画」を人生設計書として作り上げます。

## 「3KM 手帳」の活用

さらに、継続のためのシステムとして「3KM 手帳」を活用します。こうすることで、これらの目標に向かって、持続的・自発的意欲を喚起 (Motivation) します。

この結果として、3KM は業績を飛躍的、継続的に向上させます。

その上、社員一人ひとりの内面的収穫として素直に受け入れやすく、個人、家庭を尊重する 3KM の考え方を取り入れる企業姿勢そのものが、社員とその家族の理解や愛着、帰属意識を高めることにも寄与します。

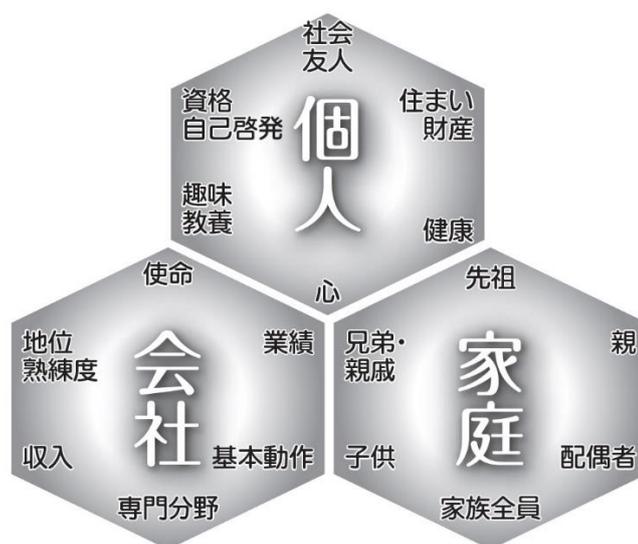
その意味でも、3KM プログラムは組織風土そのものを、より強く堅固なものに成長させる決め手となるのです。

3KM は毎日数分の実践、訓練により 10 年で 10 倍の成果が出ると、ハーバード大学の研究調査によって確認されたノウハウに基づき設計されています。

人生は、学問に加えて、まずは実践です。

より良い人生を歩むために、躍進のメンバーは 3KM を実践します。みなさまも一緒に実践してみませんか！すべては、自他共の「幸福実現」のためなのです。

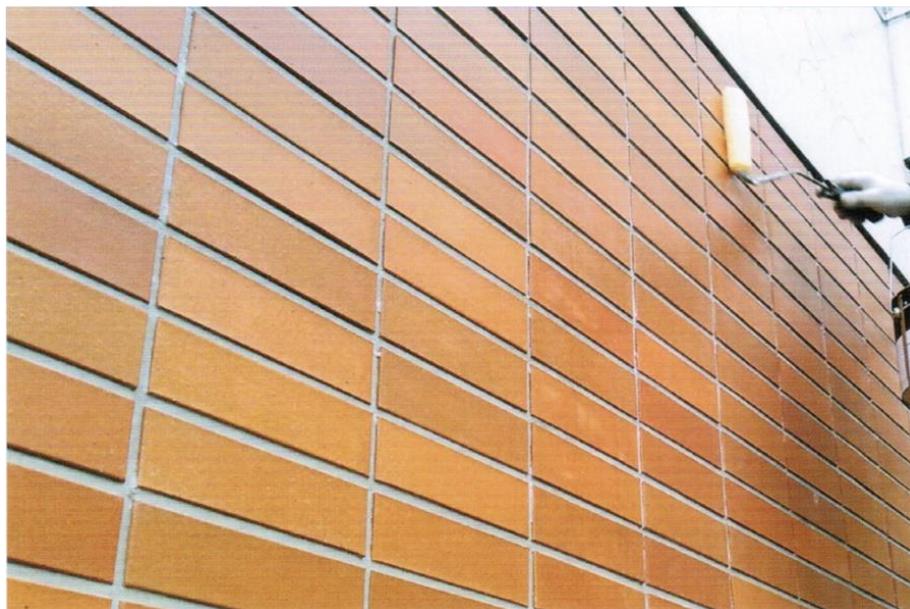
問い合わせ先：一般社団法人 3KM 生涯幸福設計実践協会 HP : <https://www.3km.or.jp/>



**すでに好評 スカイコートW 水系ウレタン樹脂****タイル仕上げの意匠性をそのままに**

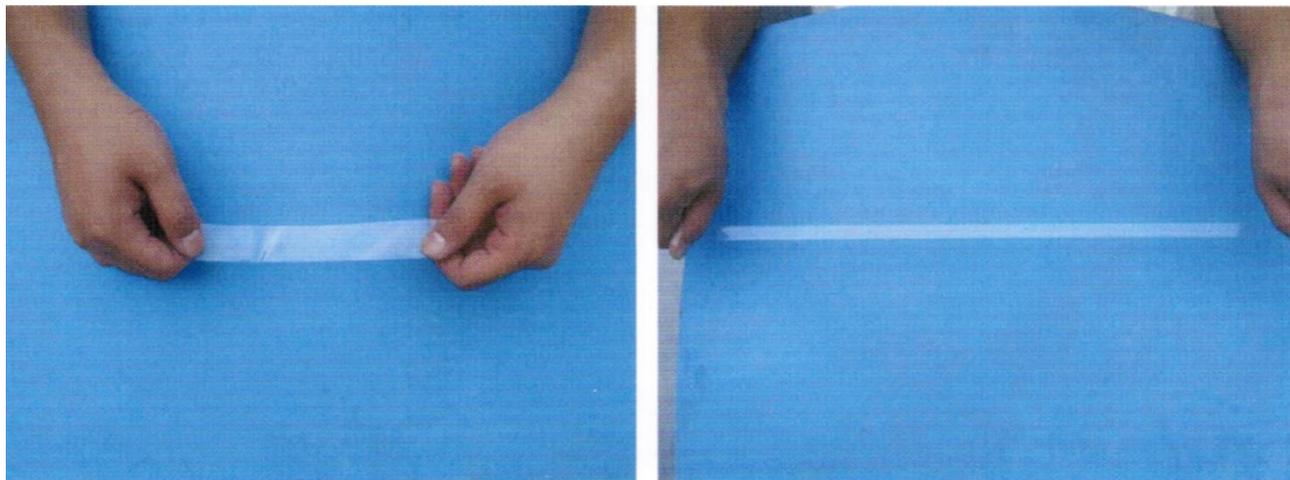
先月号より躍進がご案内している、強靱で柔軟な被膜を形成するタイル張り面の透明外壁防水材『スカイコートW』は、すでにご好評をいただいております。ご注文、問い合わせが多く寄せられています。

透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。透明な塗膜なので、タイル仕上げの意匠性をそのままに雨水の侵入を防ぐことができます。

**オール水系**

プライマーを含めすべての構成材料は水系であり、危険物を一切含んでいないため引火や中毒の危険がなく、居住者・作業員・環境にやさしい材料といえます。

## 超高性能被膜



ウレタン樹脂の特性を生かし強靱で柔軟な被膜を形成し、驚異的なひび割れ追従性(20mm以上)、抗張積(2670N/mm)を備えています。

また専用プライマーにより磁器タイルの様な吸い込みの少ない下地へも強固に接着し、タイルの剥落の予防に寄与します。

## 優れた施工性

すべての構成材料は1液型のため煩雑な混合作業は必要ありません。壁面施工でもダレ難く、適度なレベリング性によりフラットな仕上がりになります。

## 防カビ・防藻機能

防カビ・防藻機能を付与しており、不快なカビや藻の発生を抑制します。

## 施工仕様

工程	使用材料	塗布量(kg/m <sup>2</sup> )	塗布回数	塗布間隔(目安)	塗装方法	
1	プライマー	スカイコートWプライマー	0.1~0.2	1	春秋 約2時間 夏 約2時間 冬 約3時間	ローラー
2	防水層①	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
3	防水層②	スカイコートW防水材	0.2~0.3	1	春秋 約3時間 夏 約3時間 冬 約5時間	刷毛、ローラー
4	トップコート	スカイコートWトップ	0.1~0.2	1~2	—	刷毛、ローラー

高い防水性に加えて、意匠性の確保や、施工性の高さなど、各方面で多大な評価をいただいております。

『スカイコートW』のご注文、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

**大雨被害には防蟻、防カビ施工は必須！**

「令和2年7月豪雨」は、九州を中心に各地で甚大な被害をもたらした大雨ですが、いまや台風やゲリラ豪雨を含め、大雨被害のない年はないといってもよい時代になりました。

こうした被害の復旧作業において、絶対に忘れてならないのが、防菌・防蟻・防腐処理です。

生活空間である床上には、清掃の後、防菌処理をしますが、床下にまで後処理が及ばないことが多いようです。

汚泥を排出し清掃しても、湿気や様々な菌をそのままにしておくことで、シロアリや腐朽菌を発生させることになるのです。特に、不要な水分だけでなく不十分な処理が原因で、腐朽菌を繁殖させることになります。

腐朽菌は、土台などの木材の主成分であるセルロースやヘミセルロースなどを分解して、木材を多孔質に変化させ強度を下げるのです。

床下・床上浸水の後処理をはじめ、適切な防菌・防蟻・防腐処理は躍進におまかせください。ご連絡をお待ちしています。

## 「赤外線漏水調査システム」で高精度の雨漏り調査を

もし雨漏りの疑いがあるのなら、台風シーズンを迎える前に、必ず調査を実施してください。

### 散水調査と水張り調査

散水調査とは、雨漏りが発生していると思われる箇所に、雨天時と同じ状況となる散水を実施し、雨漏りを再現させ、原因を特定する方法です。

これは、一見単純な作業のように見えますが、建物の構造を熟知したプロでなければ、漏水箇所の特定判断ができない難しい調査なのです。

また、水張り調査とは、陸屋根の場合、屋上に水を張って、その溜めた水が下に漏れてきていないかを確認する調査方法です。これも、プロの眼力をもって漏水箇所を特定するのです。

しかし、それでも、原因の特定は、熟練したプロですら難しいものです。原因が特定される保障が無いのです。すぐに漏水箇所を発見でき、簡単な処置によって修繕できるケースもあれば、調査を繰り返してやっと発見できる場合もあります。

原因が特定できなければ、外壁、屋根、防水等の全体改修を実施しなければなりません。しかし、それではコストも時間も、かかりすぎてしまうのです。

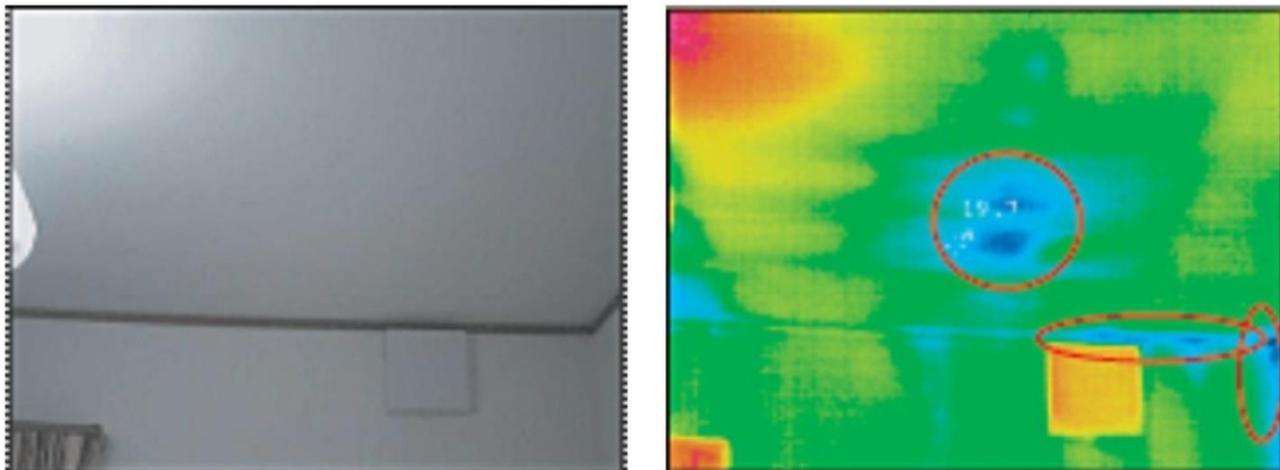
### 赤外線を利用し確かな調査精度を確保する

専門の調査会社が、調査・補修をくりかえしていながらも、一向に雨漏り被害が改善されないという、そんな悩みを一気に解決したのが、サーモグラフィ法による『赤外線漏水調査システム』です。

赤外線は、温度を持つすべての物体から、その温度に応じた波長分布によって、自然に放射されます。その波長分布を、色画像として示し、様々な状態を分析する装置がサーモグラフィです。そのため、今まで発見できなかった雨漏りの侵入口も明確に特定することができます。

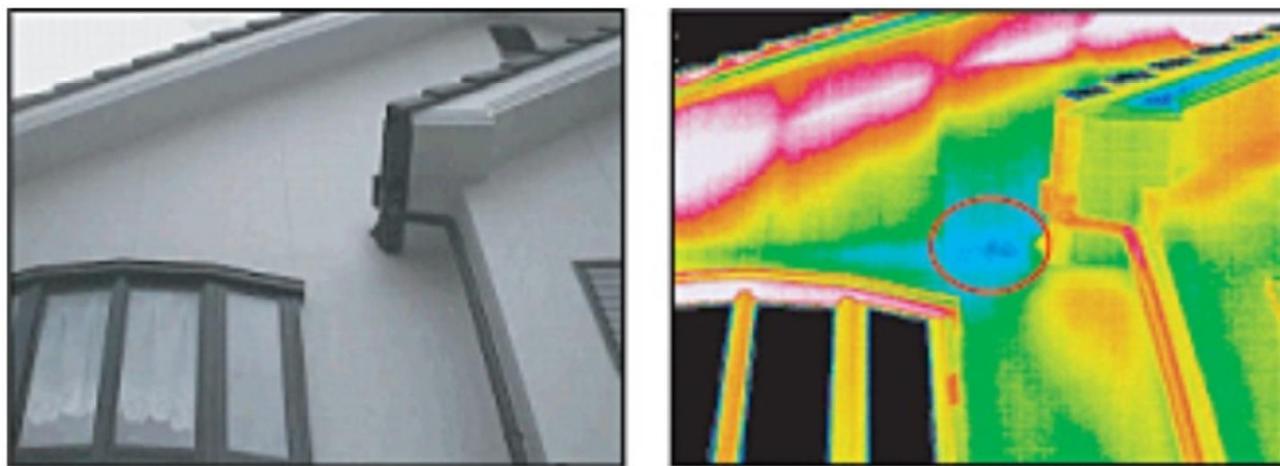
サーモグラフィの特徴は、広い面積を同時に捉えることができるため、モニター上に映し出される温度の相対比較をひと目で分析できます。

サーモグラフィは、対象物から離れて温度測定ができるため、動いているものや、近づくことができない危険なものでも簡単に温度計測・分析することができます。



例えば、**上の2枚の写真**は、天井の一部と天井と壁の間が漏水している写真です。サーモグラフィ上では、部屋全体の温度は緑色で表示されています。

そして、暖房などで室内が暖まると赤色に変化します。しかし、**漏水箇所は水色で表示される**のです。サーモグラフィ上では、丸で囲った部分には、水色を乗り越えて、濃い青色が示されており、ここが漏水箇所であることが分かります。



また、**上の2枚の写真**は、外壁に放水後、表面が乾いてから、サーモグラフィで計測したもので、下屋の雨どい脇に、赤外線画像では濃い青色が示され、その部分に水が蓄積していることが確認できるのです。

まさに、『赤外線漏水調査システム』は、熟練のプロの技を確かなものにする最高のアイテムといえます。

雨漏り調査・修繕にかかるコスト・時間を、合理的に縮小・短縮できるのが『赤外線漏水調査システム』です。

ご依頼、お問い合わせは、躍進までお気軽に。ご連絡をお待ちしております。

## 「地域のホームドクター」の役割を果たす木材劣化診断士



これまでにご紹介を重ねてまいり、すっかりおなじみになりました**木材劣化診断士**ですが、床下点検に多くの実績がある躍進には現在、4人の木材劣化診断士がおります（**上写真参照**）。

木材劣化診断士は、木材の生物劣化（腐朽と虫害）の診断技術の専門家です。外構の中心となる木質構造物の生物劣化の現況を診断する様々な能力を持っています。また、補修や修理に関する助言、改修や維持管理に関する助言を行うことができます。

木材劣化診断士が習得した診断技術は、住宅などの劣化診断にも適用可能です。住宅と外構の劣化のポイントをおさえ、木材とその劣化、構造別の劣化の特徴を把握しています。

### 「住まいの予防医学」の体現者

そんな木材劣化診断士は、躍進の「**地域のホームドクター**」として活躍中です。

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に、多くの皆さまの暮らしを見つめてまいりました。

幸せなホームを実現するには、その入れ物であるハウス（住宅）が健全でなければなりません。肝心なのは、治療だけでなく「**住まいの予防医学**」を実践することです。

その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学」を実践する「地域のホームドクター」である躍進のまさに背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって食害・侵食された家屋の耐久性は著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾くほど

の損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。

そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。

その最前線で活躍しているのが躍進の木材劣化診断士であり、「地域のホームドクター」としての役割を果たしているのです。

床下点検からはじまる「住まいの予防医学」は躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください。

## 6割超が一戸建て希望、コロナ禍を受けた住宅購入調査

リクルート住まいカンパニー（東京都港区）はこのほど、「コロナ禍を受けた住宅購入・建築検討者調査」を実施し、その結果を発表しました。

一戸建て・集合住宅（マンション）意向としては、「一戸建て」派が63%と、昨年12月の調査時と比較し7ポイント増加しました。

特に30代では、「一戸建て」派が22ポイント増加と、戸建て志向が強まっていることがわかりました。

住宅の広さと駅からの距離、どちらを重視するか尋ねたところ、「広さ」派が52%と10ポイント増加し、「駅距離」派が30%と10ポイント減少しました。

「注文住宅」を検討している人では、「広さ」派が61%（昨年比12ポイント増）に上りました。

コロナ拡大前後での住宅に求める条件の変化としては、「仕事専用スペースがほしくなった」を挙げた人が25%と最多。次いで、「宅配・置き配ボックスを設置したくなった」(24%)、「通風に優れた住宅に住みたくなった」(23%)となりました。約7割の人に、住まいに求める条件の変化が起きていることがわかりました。

新しい住居で解決したい・したかった元の住居の不満・課題を尋ねたところ、「住戸が狭い（専有面積）」(21%)との回答が最多。昨年調査と比較して、回答者が最も増加した項目は「収納が狭い」（前回調査：13%、今回調査：19%）でした。

住み替え検討のきっかけは「結婚」(16%)が最多。8%の人が「在宅勤務になった」を挙げました。

コロナ拡大によって、住まいの「検討を中止した」人の割合は7%。「検討を休止した・

いったん様子見にした」人の割合は24%でした。一方で、「影響はない」(34%)との回答が最も多く、「住まい探しの後押しになった」(16%)や、「きっかけになった」(15%)とした人もいました。

今が住宅の「買いどき」だと感じている人は49%。昨年調査時と比較し3ポイント減少しました。買いどきだと感じる理由としては、「今は、価格・費用がお手頃」との回答が39%と、昨年調査時より8ポイント増加しました。

調査期間は5月17日から21日。調査対象は、スクリーニング調査が、首都圏(東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県)在住の20から69歳男女(有効回答数:4万2075)。本調査が、4月7日以降に住宅の購入・建築・リフォームについて検討した人となっております(有効回答数:1082)。

## 「ワークスペース希望」が25%から35%へ

オープンハウス(東京都千代田区)はこのほど、同社の設計担当者へのアンケートにより、緊急事態宣言以降のwithコロナ時代の新築戸建てのニーズを調査しました。

その結果、新規打ち合わせで、約35%の顧客が「書斎などのワークスペースの設置」を希望していることがわかりました。

緊急事態宣言前の書斎スペースの要望は平均約25%だったことから、“書斎スペースのある家”は、withコロナ時代・afterコロナ時代の家のトレンドになり得るとします。

書斎スペースを希望する理由としては、「新型コロナウイルス感染拡大の影響で在宅時間が伸びたため、家の中でテレワークに対応できるスペースが欲しい」などの声が聞かれました。

テレワークなどは、コロナ禍による一時的なビジネススタイルではなく、アフターコロナにおいても、十分に定着するものであるとの意識が強く表れているようです。

調査時期は6月。同調査では4月以降をwithコロナ時代のニーズと設定しています。回答数は357件です。

<p>株式会社 <b>躍進</b></p>	<p>関連会社 株式会社 <b>不動産事業</b> <b>ヤクシンジャパン</b></p>	<p><b>事業内容</b></p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き</p>
<p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 株式会社 <b>First Arrows</b> <b>ファーストアローズ</b></p>	<p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁等診断</p>